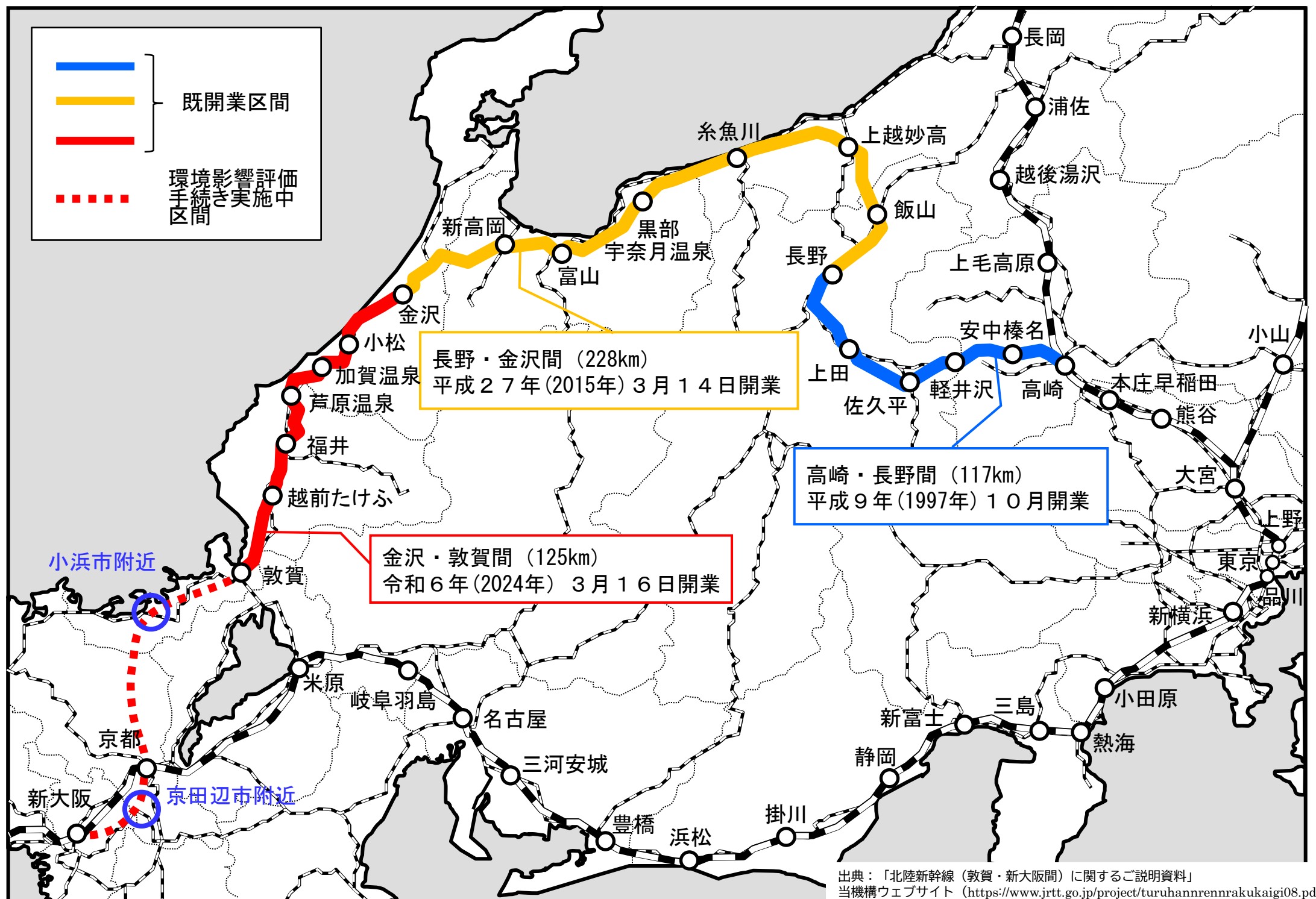


# 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）新大阪駅に 関するご説明資料

令和7年3月25日

（独）鉄道・運輸機構 北陸新幹線建設局

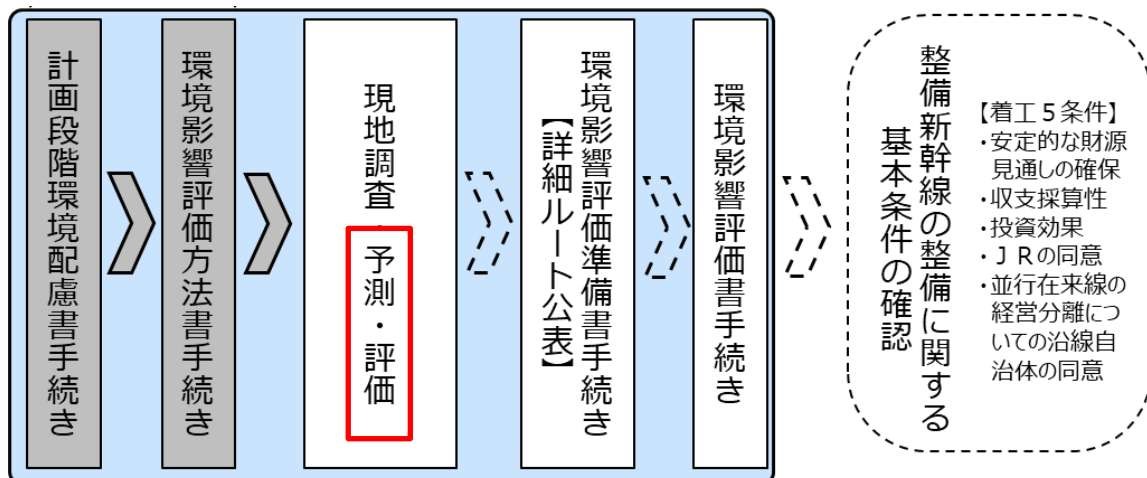
# 北陸新幹線の概要



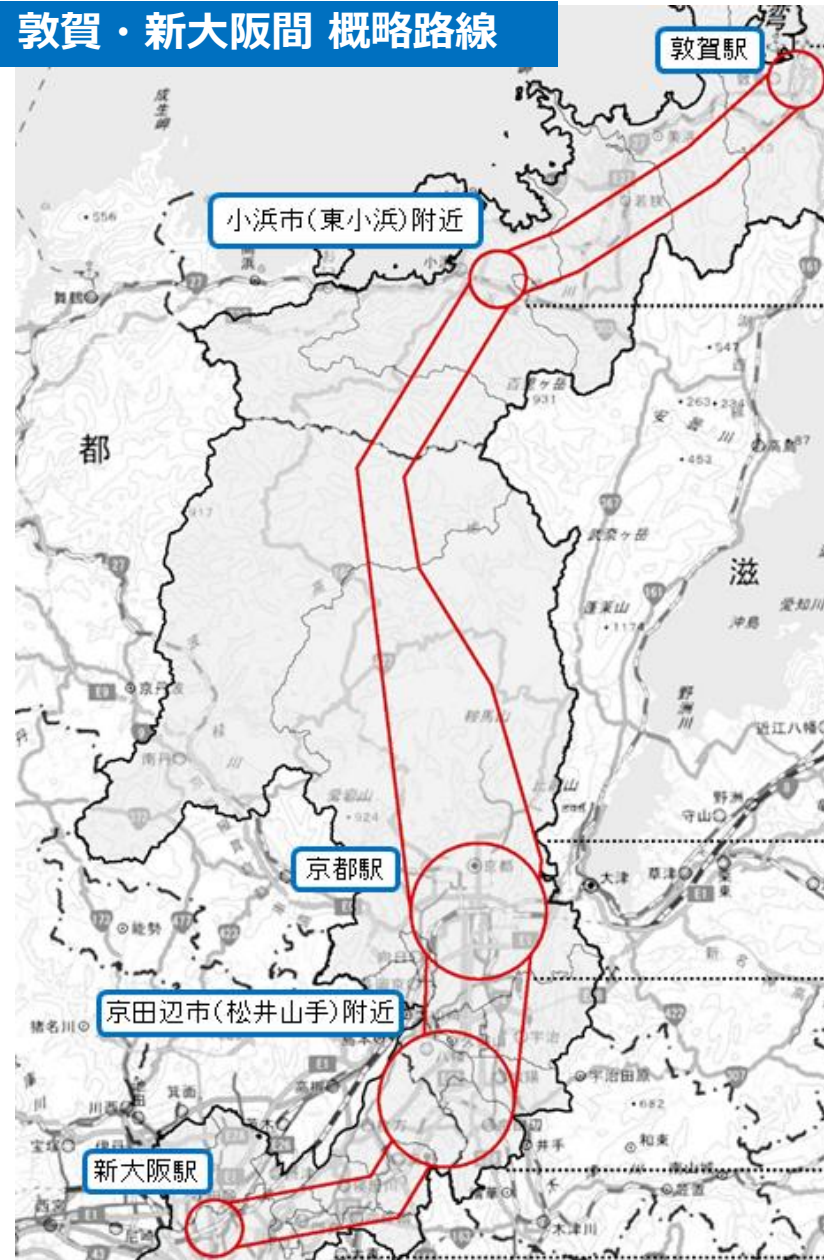
# 北陸新幹線(敦賀・新大阪間)の現状について

- **北陸新幹線（敦賀・新大阪間）については、環境影響評価について、現地調査は既に概ね終了し、予測・評価を実施。また、令和５年度より、鉄道・運輸機構において、従来、工事实施計画の認可後に行っていた調査も含め、施工上の課題を解決するための調査を「北陸新幹線事業推進調査」として先行的・集中的に実施。**

## 環境影響評価手続きの流れ



## 敦賀・新大阪間 概略路線

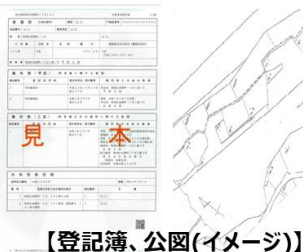


## 北陸新幹線事業推進調査

## 用地関係

- ・法務局の登記簿、公図等を取得

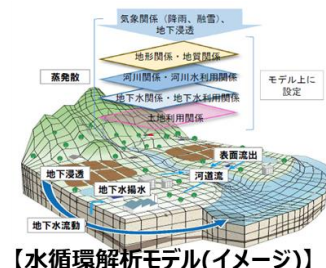
→着工後に用地  
取得の難航が  
予想される個所  
の確認



**地下水関係**

・地下水の流れについて調査

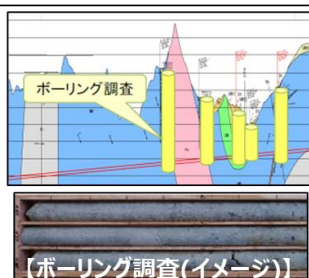
→ 駅部施工等の  
際の地下水へ  
の影響について  
確認・解析



## 発生土関係

・ボーリング調査を行い、自然由来の重金属等の分布を調査

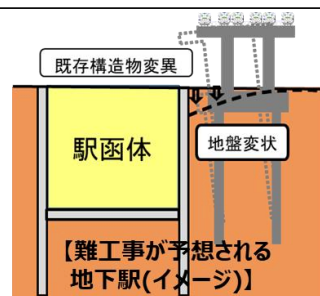
→対策土量の予測や  
受入地の確保に  
向けた自治体との  
早期協議



**駅関係**

- ・地質調査等を通じた状況の把握
- ・概略設計に資する調査等の実施

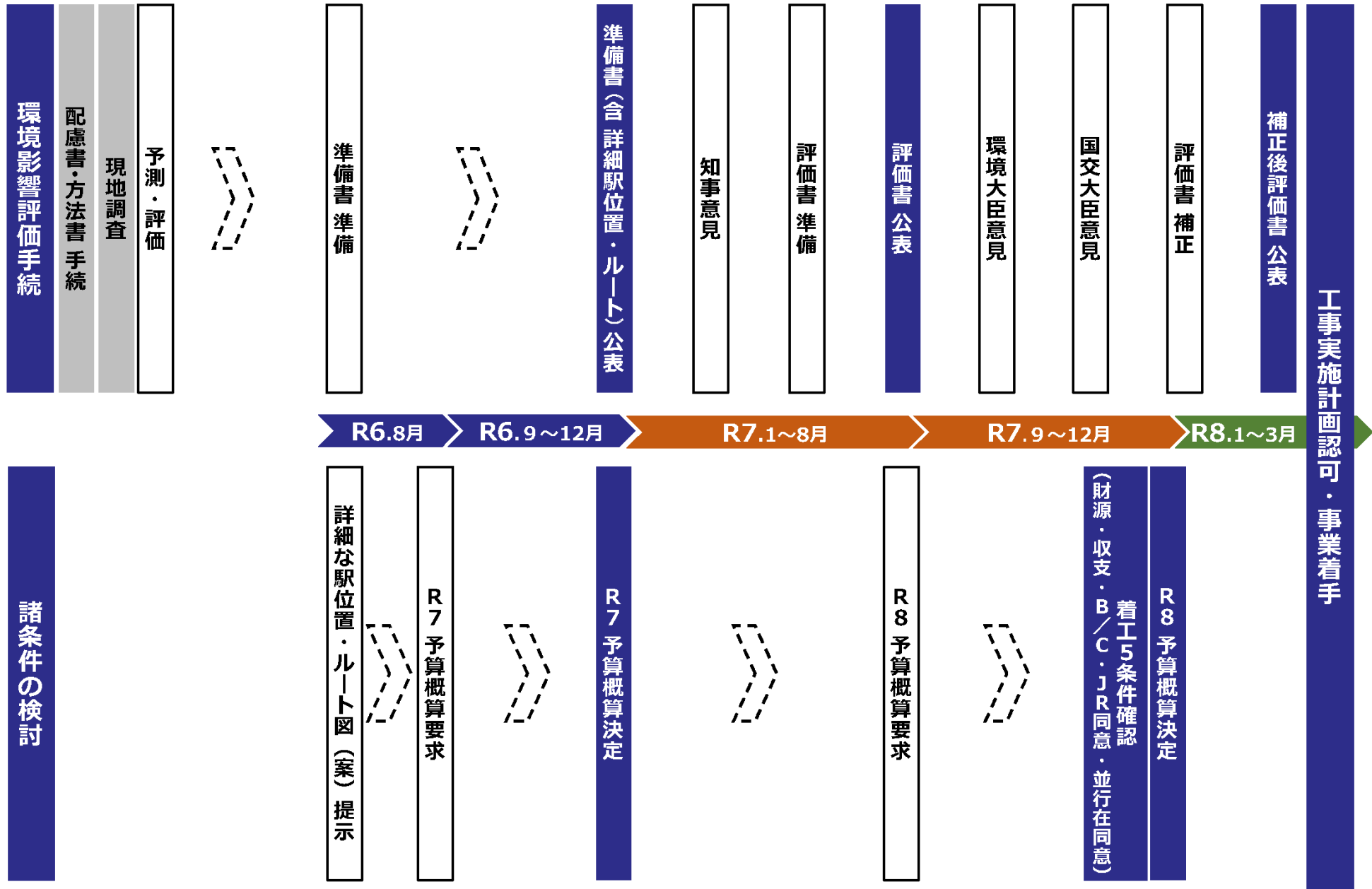
→実現可能な駅位置・構造について検討



# 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）の現状について

## 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）今後のスケジュール（最短の場合）

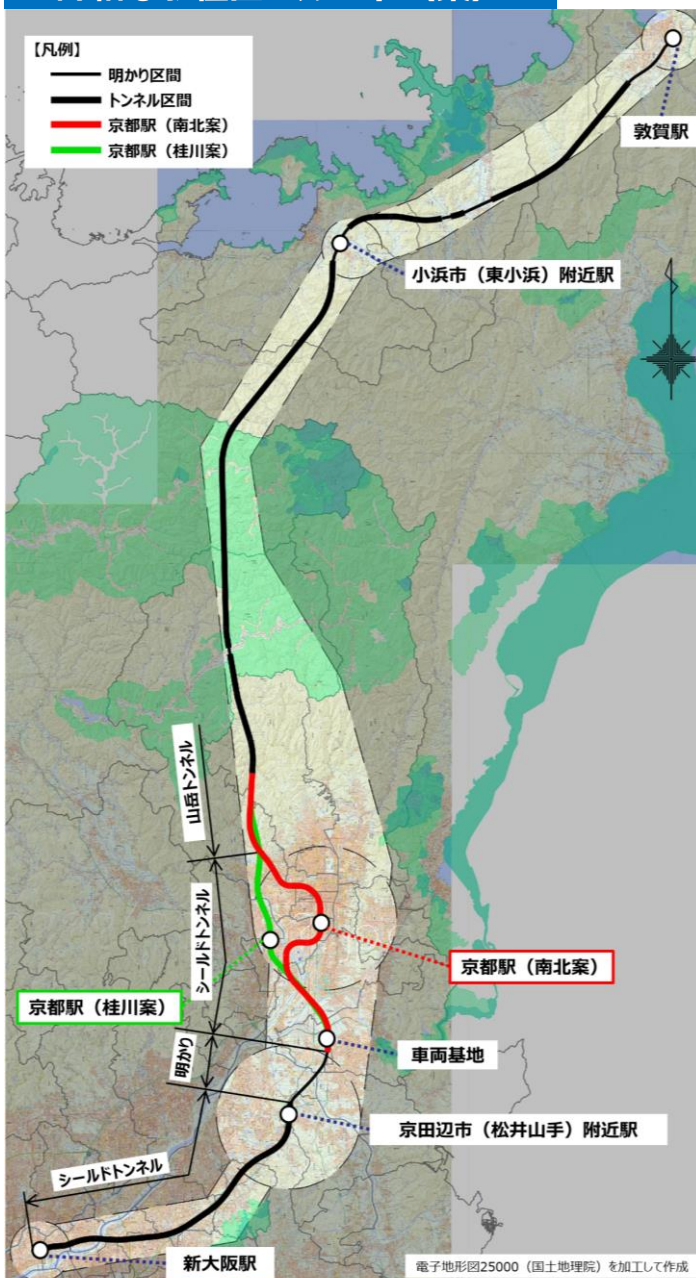
R6.10時点の想定



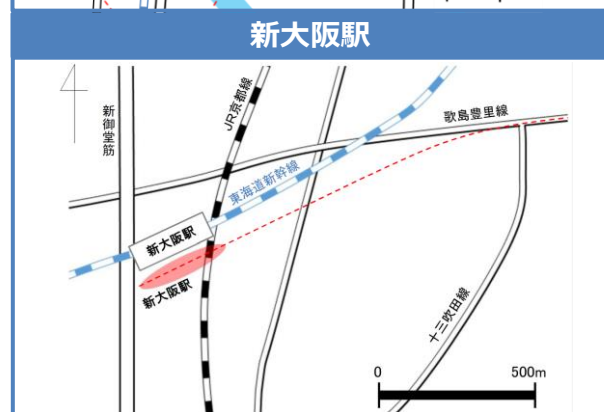
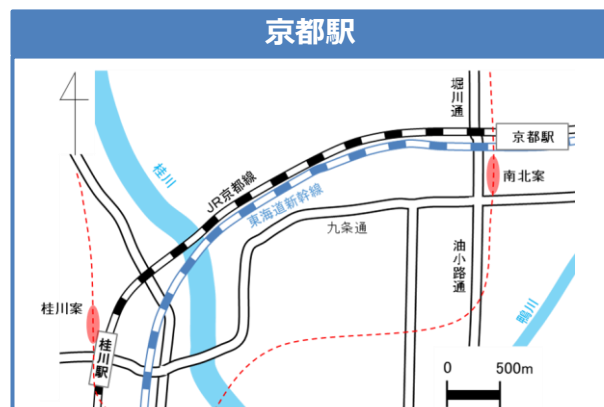
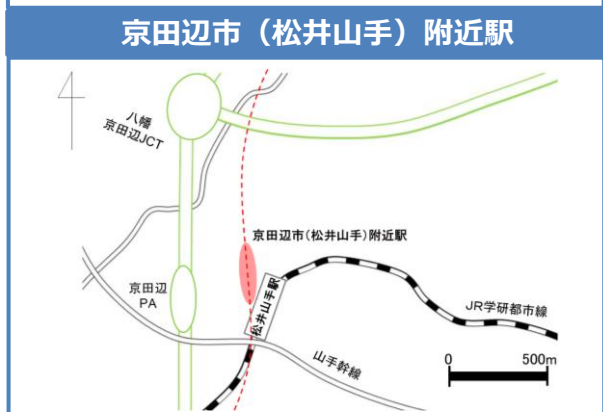
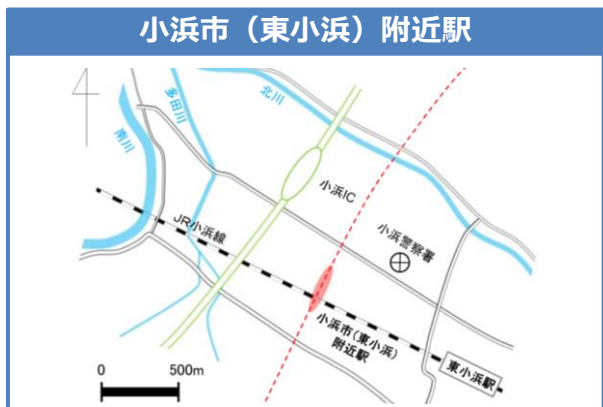
# 北陸新幹線(敦賀・新大阪間)について

- 環境影響評価手続を進めるとともに、令和5年度より、施工上の課題を解決するための「北陸新幹線事業推進調査」を先行的・集中的に実施。令和6年8月に詳細な駅位置・ルート案などを提示し、令和6年12月、与党の整備委員会からPTに対し、南北案、桂川案のいずれかとするなど内容を中間報告がなされた。

## 詳細な駅位置・ルート(案)



※現時点での想定イメージ。



| 事業費・工期等                    | 南北案                             | 桂川案      |
|----------------------------|---------------------------------|----------|
| 総延長                        | 約144km                          | 約139km   |
| 停車場等                       | 東小浜(地上) 京都・松井山手・新大阪(地下) 各駅、車両基地 |          |
| 新大阪駅工期                     | 概ね25年程度                         |          |
| 京都駅工期                      | 概ね20年程度                         | 概ね26年程度  |
| 概算事業費(※1)<br>(令和5年4月価格)    | 概ね3.9兆程度                        | 概ね3.4兆程度 |
| 概算事業費(※2)<br>(含 将来の物価上昇見込) | 概ね5.2兆程度                        | 概ね4.8兆程度 |

※1 平成28年度当時は2.1兆円。その後の物価上昇、検討の深度化等により再算定。

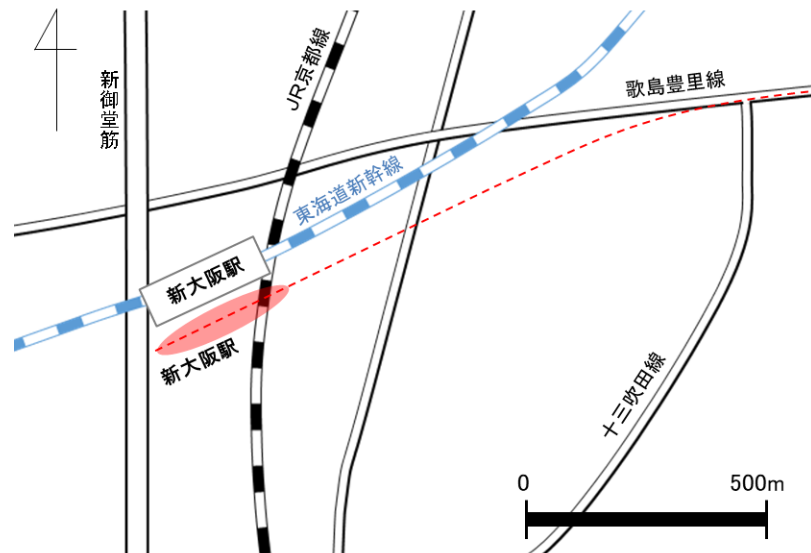
※2 令和5年4月時点の価格で算定された概算事業費について、近年の物価上昇率を踏まえ、今後2%上昇すると仮定。

# 新大阪駅の検討状況について

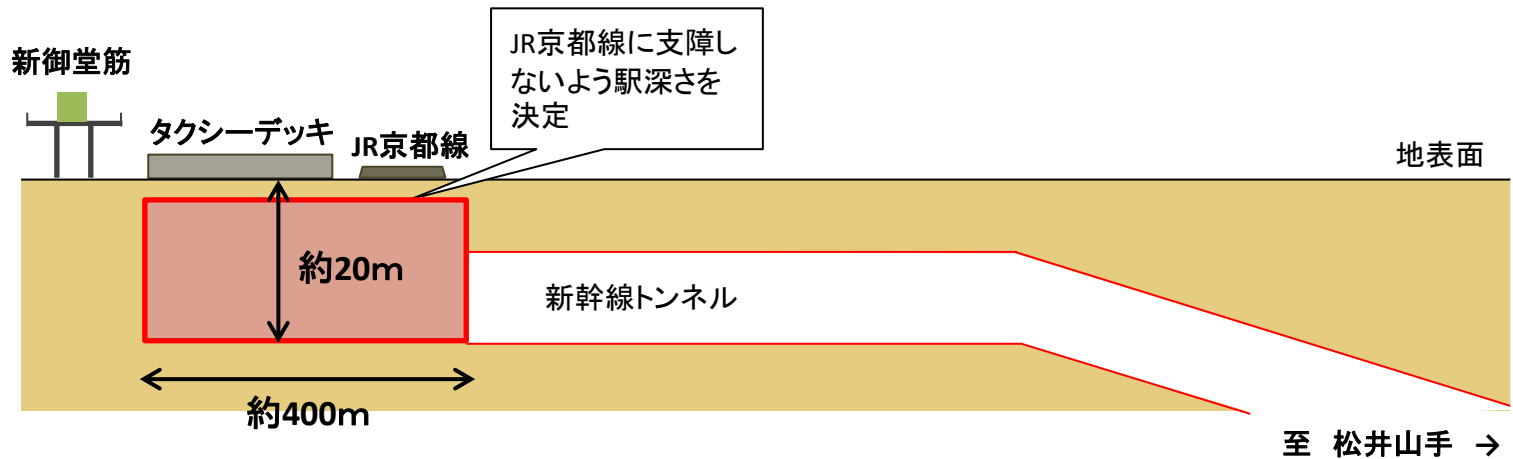
## 概要

- ・新大阪駅は、東海道新幹線新大阪駅南側の駅前ロータリー付近の地下に設置。
- ・駅構造は2面4線、延長約400m、幅約50～60m。
- ・駅深さは駅周辺の既設構造物に支障しないように決定。

## 平面図



## 縦断面図



※駅位置・深さ等は、今後実施する事業推進調査等により詳細を決定していく